

令和元年度 釧路川 水生生物による水質調査

令和元年度水生生物による水質調査は、釧路市立景雲中学校、釧路湿原川レンジャー・標茶町内の小学校・北海道標茶高等学校、弟子屈町立弟子屈中学校の生徒により実施しました。

調査に先立ち、川での安全対策（水難防止）講習を行い、正しい救命胴衣の着用方法等について学びました。

すべての調査で釧路川の水質は4段階で最も上位の「きれいな水」と判定されました。

【実施概要】

○令和元年7月26日（金） 釧路市立景雲中学校（21名）

⇒ 調査場所：釧路川開発橋下流（標茶町字西熊牛原野西2線地先）

○令和元年8月1日（木） 釧路湿原川レンジャー（30名）・標茶町内の小学校（26名）
北海道標茶高等学校（3名）

⇒ 調査場所：釧路川ときわ橋下流（標茶町川上・しべちゃ水辺の楽校）

○令和元年8月6日（火） 弟子屈町立弟子屈中学校（11名）

⇒ 調査場所：釧路川開発橋下流（標茶町字西熊牛原野西2線地先）



安全対策講習の様子
（救命胴衣の説明）



状態観察 流速観測



川の状態観察（透視度）



水生生物の採取の様子



水生生物の分類の様子



水質調査の様子



魚類観察の様子



投網による魚類調査



調査結果のまとめ

令和元年度 調査結果

□水生生物調査では、「きれいな水」に生息する多様な指標生物が確認されました。

□簡易水質調査では、2地点において魚類等の生息環境としても「良好」であり、きれいな水質であることが確認されました。

調 査 結 果			令和元年7月26日		令和元年8月1日		令和元年8月6日					
			釧路市立景雲中学校		釧路温原川レンジャー 標茶町内の小学校 北海道標茶高等学校		弟子屈町立弟子屈中学校					
			標茶町宇西熊牛原野西2線地先 (開発橋下流)		標茶町川上【しべちや水辺の築校】 (ときわ橋下流)		標茶町宇西熊牛原野西2線地先 (開発橋下流)					
参加者数	合計	91人	21		59		11					
1.天気と気温	天気		曇り		晴れ		晴れ					
	気温(°C)		22.7		33.5		27.5					
2.水温	水温(°C)		15.9		19.8		18.0					
3.川幅	川幅(m)		31		34		33					
4.水深	水深(m)		0.22		0.29		0.16					
5.流速	測定値(cm/s)		55		33		49					
6.透視度	平均値(cm)		100以上		100以上		100以上					
川の簡易水質調査	項目	水素イオン濃度(pH)	7.3		7.3		7.3					
		化学的酸素要求量(GOD)	1 [mg/L]		1 [mg/L]		3 [mg/L]					
		溶存酸素量(DO)	9 [mg/L]		9 [mg/L]以上		9 [mg/L]					
		アンモニウム態窒素(NH4-N)	0.2 [mg/L]		0.2 [mg/L]		0.2 [mg/L]					
		リン酸態リン(PO4-P)	0.04 [mg/L]		0.03 [mg/L]		0.04 [mg/L]					
川の水生生物調査	指標生物	階級Ⅰ きれいな水に生息する生物 [匹]	カワゲラ類	6	1点	7点	—	4点	—	6点		
			ヒラタカゲロウ類	20	2点		1		2点		2	1点
			ナガレトビケラ類	2	1点		—		—		1	1点
			ヤマトビケラ類	2	1点		—		—		3	2点
			ヨコエビ類	16	2点		25		2点		5	2点
		階級Ⅱ ややきれいな水に生息する生物 [匹]	コガタシマトビケラ類	3	1点	1点	—	—	—	—		
	指標生物以外	その他採取した水生生物 [匹]	ヒゲナガカワトビケラ類	73		—		22				
			タニガワカゲロウ類	11		11		12				
			マダラカゲロウ類	74		—		30以上				
			ツツトビケラ類	6		—		—				
			シマトビケラ類	37		—		4				
			ニンギョウトビケラ	6		—		1				
			チラカゲロウ	15		—		10以上				
ウチダザリガニ	13		24		3							
川の魚類等調査	捕獲した魚類等 [匹]	ヤマメ	20		13		3					
		アメマス	1		—		—					
		ニジマス	2		—		—					
		ウグイ	—		14		1					
		ハナカジカ	—		—		1					
		フクドジョウ	—		—		2					
		判 定			きれいな水 [※]							

※川の水生生物調査の採点は以下の手順で実施

1. 採取した各階級の指標生物種を対象に採点（採取した種は1点、数の多い2種は2点）
2. 上記の結果を階級毎に合計し、最も高得点となった階級を調査地点の判定結果とする。